

## 普及センターだより 263号

# けいはんのりめん 除草剤にたよらない畦畔法面の管理をめざして

### センチピードグラス（被覆植物）の造成

水田の幅広畦畔、道路付き法面など重労働な草刈作業で困っていませんか？  
草刈がたいへんなので除草剤を散布しているけど崩れて困るということはないですか？

このような方に耳寄りの情報です。

近年、除草作業の省力を図るため、畦畔被覆植物の利用が注目されています。その中でもセンチピードグラスは、造成後の被覆性が優れ他の雑草を抑制すること、耐用年数が長く造成コストが比較的安いことから近年、全国的に基盤整備後の畦畔に導入され始めています。



造成2年目きれいなシバ地ができあがった.九十九里作田

センチピードグラスの特徴は

- 和名を「ムカデシバ」（イネ科）といい、東南アジア原産。株からランナー（ほふく茎）が伸び、急速に地表面を覆う。
- 草丈15～20cmと低い。密な芝地を形成し雑草抑制力あり
- 耐用期間は、10年以上（半永久的）

水田内に侵入して雑草化しない

山武管内では平成15年試験的に約3000㎡の畦畔に造成しました。様々な造成方法を試みた結果、セル苗を定植する



除草剤による管理で崩れた畦畔法面

方法が実用的であることがわかりました。造成がうまくいった生産者の反応は、畦畔が崩れなくなった。雑草も抑えられそうだと好評です。減農薬栽培、草刈作業の省力化、砂質土水田畦畔の崩落防止、景観形成などの効果が期待されます。



セル苗定植作業

## センチピードグラスの植付け

センチピードグラスは初期生育がきわめて遅いため、競合する雑草を抑えて、生育を助けることが重要です。

### 育苗

田植が終了したら、育苗ハウスを活用して、セルトレイ(128~200 穴)に播種します。培土は園芸用合成培土などを使用し、播種量は1穴5粒程度(種子は1300粒/gでとても細かい)軽く覆土をしてください。セルトレイは乾燥しやすいので、まめにかん水が必要です。パオパオのような透過性の不織布を掛けておくと3日に1回程度で済みます。育苗期間は45日程度かかります。200穴のセルトレイ1枚で8㎡植え付けることができます。

### 定植前の雑草処理

畦畔法面(土手)等に主に1年生雑草が多い場合、定植1週間~10日前にラウンドアップ等除草剤を散布し枯らします。事前に草丈は30cm以下に管理しておきましょう。

チガヤ等多年生雑草が多い場合、1年目はラウンドアップ等除草剤の散布と刈り払いを繰り返し徐々に密度を下げて2年目に定植します。

### 定植方法

#### セル苗をそのまま植える

雑草が枯れ始めたら、草刈せずに、セル苗を1㎡当り25本(20cm角)の密度で定植します。市販の穴あけ器具(写真)を使うと能率的です。活着をよくするため、梅雨の時期に植えます。水分があれば、8月上旬まで可能です。定植後雑草が大きくなったら、10cm程度に草刈し、苗に光が当たるように管理します。

#### マルチを張って植える

除草剤で処理した後、草をきれいに刈り払い、生分解性マルチを張ります。セル苗は㎡当たり16~25本。植え方はと同様です。その後の草刈、マルチ剥ぎは必要ありません。

種子は農協や牧草の種を扱う業者で入手できます。



穴あけ器具



雑草を抑えるマルチ

## 堆肥を使った秋冬ネギ栽培

松尾町広根で実施した秋冬ねぎの堆肥栽培試験が終了したので、結果の概要について紹介します。

本試験は堆肥による土作りの効果と秋冬ネギの「ちばエコ農産物」取得の可能性を検証する目的で、関係機関との協議の下 J A 大平支所青年部の協力で実施しました。

試験は牛、豚、鶏の3種類の堆肥を使用した区と堆肥を施用しない区で収量・品質について比較を行いました。

堆肥施用区の化成由来のチッソ成分は7.4kg(ちばエコ基準は13kg以下)で、総チッソ分の55~75%以上が有機体によるものでした。

結果は、いずれの区でも堆肥無施用区に比べ収量、本数共に多くなり、堆肥の施用効果が確認できました。

また、農薬の使用回数も育苗時を含めて11回(ちばエコ基準13回以内)となり、「ちばエコ」での栽培の可能性も評価できる結果となりました。

今後は施肥設計・栽培管理の見直しが必要となりますが、いずれにしても堆肥の利用は継続性が必要であり、これからも堆肥による土壌の改良効果の検証を進めていきたいと思えます。

(表)

		鶏ふん区	豚ふん区	牛ふん区	無施用区
全重 (葉つき)		12.5kg	10.4kg	11.0kg	8.9kg
本数		92本	85本	91本	78本
等級別 割合	2L	46%	62%	57%	50%
	L太	5%	6%	0%	4%
	L細	40%	28%	36%	37%
	B	9%	4%	7%	9%

# イチジクの整枝について

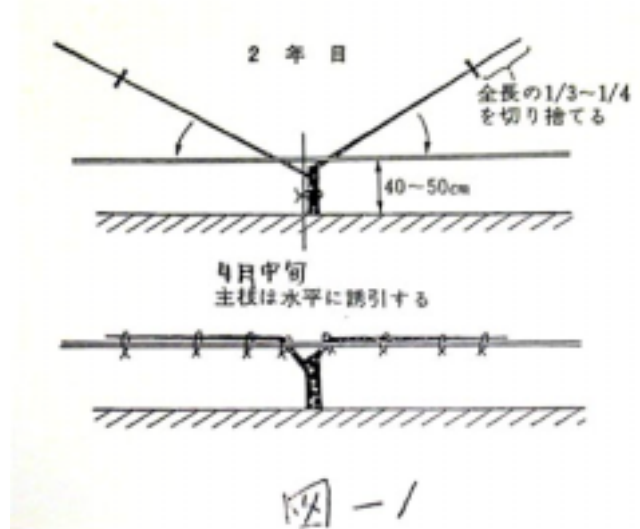
イチジクは、早期成園化・作業能率向上のために、密植栽培による一文字整枝を導入します。整枝は、果樹の骨格を決定するもので、重要な作業となります。植え付け一年目の管理は、普及センターだより262号（前号）を参考にしてください。

## 一 二年目の整枝・剪定

主枝候補枝の切り返しは、二月中旬～三月中旬に行います。枝の色が褐色から緑色に変わる付近で、充実の良い部分で切ります。（全長の1/3～1/4を切除します。）切り返し点となる芽は、水平に誘引したときに、横になる芽を選びます。（図一）

誘引・結束の時期は、樹液が流動し、発芽が始まる四月中旬頃が良いでしょう。ここでのポイントは、主枝を単に横に誘引すると裂けることがありますので、ねじりながら倒すことをお勧めします。

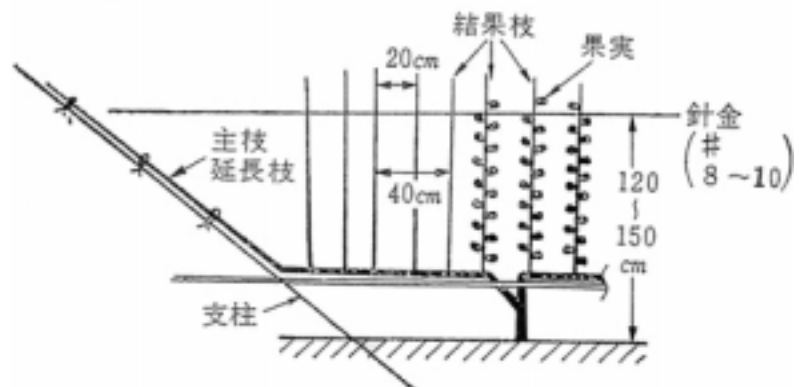
誘引後、主枝の最先端からのびる新梢は、斜めに支柱を立て、先端が下垂しないように誘引し、主枝延長枝とします。他の枝は、随時不必要な芽を芽欠きして、左右20cm間隔の千鳥配置となるようにします（この枝を結果母枝と言います。図二）



## 三 三年目の整枝・剪定

主枝延長枝は、倒した時に、隣木の主枝との間隔が30cmとなる位置の上芽で切ります。結果母枝からのびた新梢は基部二節を残して側芽で切り返します。

図-2





## 「おかあさんからの玉手箱」開催

山武郡市農家生活改善研究会は、「山武に新しい風を吹かす」ことをテーマに地域活性化をすすめています。1月23日(金)～25日(日)の3日間、東金市サンピア・アートギャラリーで、「おかあさんからの玉手箱」を開催しました。「女性の起業化」「子供達への食農教育」「介護への取り組み」の3つのテーマにわかれた会場には、写真や展示物が所狭しと飾られました



介護実演

農産物加工品の紹介、商品化に向けた漬け物の展示、小学生への米料理教室、消費者との芋掘り体験など活動の様子がいきいきと伝わる展示物に、訪れた方々は熱心に見入っていました。

石臼でのきな粉挽きやお手玉づくりの体験コーナー、クイズ回答者への加工品プレゼントと盛りだくさんの内容に笑顔がこぼれ、楽しい雰囲気につつまれ、大盛況でした。

訪れた方々からは「お母さん達の活動のエネルギーをたくさん分けてもらった気がします。手作りのすばらしさをこれからも伝えて下さい」とあつ—いエールもたくさん。



今後も、起業活動・消費者や子供達との食能体験などをおして、女性の感性を活かした新しい風を吹かせていこうと意欲がふくらみました。

## フレッシュ・ニューファーマー

### 大網白里町 今井隆仁さん

元トマト用ハウスを改造したビニールハウスにサイネリアが咲き始めました。ここは、今回の主人公、隆仁さんの仕事場です。観葉植物中心だった経営から、新しいジャンルへの展開です。

農業大学校を卒業して、隆仁さんは1年間、夷隅郡岬町の花農家で研修を受けました。「技術もですが、花の経営をみっちり勉強しました。」コストや流通、販売戦略等々、さまざまな経験をとおして隆仁さんは自分の進みたい経営を決めました。

今は、親の観葉植物生産や貸し鉢業務を手伝いながら、パートさんとともに花生産をしています。目下の悩みは、休みがなかなか取れないこと。水やりなどは日をおいてできるのですが、病気や害虫が気になって毎日ハウスに行ってしまうそうです。

サイネリアの出荷のあとは観賞トウガラシを中心にニチニチソウやガーベラを作ることです。大網白里町役場の朝市(日曜)にも出店しているので、みなさん、もう会っているかもしれませんね。



# 4月1日 普及センターが変わります！

県では支庁をはじめとする出先機関の再編・整備の見直しを検討してきました。この見直しで山武支庁農林振興課、山武農業改良普及センター、東金土地改良事務所、両総用水管理事務所がひとつになり、山武農林振興センターとして新たにスタートします。

新体制は（表1）のようになり、農業改良普及センターが行なってきた業務は振興普及部に引き継がれることとなります。

（表1）山武農林振興センター

### 総務課、企画調整課、基盤整備部

東金市東新宿 17 - 6  
 （現 東金土地改良事務所）  
 0475 - 54 - 1121

### 振興普及部

東金市東新宿 1 - 1 - 11  
 （現 山武支庁）  
 0475 - 54 - 0226

### 両総用水管理課

東金市田間 2297 - 1  
 （現 両総用水管理事務所）  
 0475 - 52 - 4186

